


費目別支出内容一覧表


議員名 高瀬利也

費目	調査研究費・研修費・会議費・資料費 広報費・事務所費・事務費・ <u>人件費</u>	整理番号	1-1	
事業内容	事務所職員給与			
経費内訳	項目	金額(円)	充当額(円)	内容
	4月分	196,000	103,000	3名
	5月分	191,500	100,750	3名
	6月分	189,000	104,500	3名
	7月分	193,000	101,500	3名
	8月分	188,500	99,250	3名
	9月分	38,500	24,250	2名
	10月分	52,120	31,060	2名
	11月分	47,260	28,630	2名
	12月分	45,640	27,820	2名
	1月分	44,020	27,010	2名
	2月分	152,400	76,200	2名
	3月分	167,230	83,615	2名
	《合計》	1,515,170	807,585	
按分割合 積算根拠	<u>政務活動(50%)</u> 政務活動(50%) + その他の活動(50%)		○うち1名は按分割合(9 政務活動である (4月～1月まで)	

- 注) 1 【全費目】注) 2を除く全ての費目の支出について、本一覧表を作成すること
 報告に関しては、支出の種類(例: ガソリン、携帯電話代)ごとに1年分まとめて報
 告しても差し支えない
- 2 【調査研究費、研修費】公共交通機関利用料を支出した視察及び受講料(公共交通
 機関利用料を含む)を支出した研修については、別様式の「国内・海外視察、研修報告
 書」により報告すること
- 3 【広報費】広報紙は、経費内訳の内容欄に印刷・送付部数を記入すること
- 4 【事務所費】自己が所有する事務所に対する賃貸料は充当不可、事務所要件を満た
 さない場合は充当不可
- 5 【人件費】生計を一にする親族雇用は充当不可
- 6 領収書等は、別途「領収書等添付票」に添付すること




領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-2
【領収書その他の書面の添付欄】			
 4月分手当として 政務活動費充当額 10,000			

領収書	平成 30年 4月 25日
山口県議会議員 高瀬 利也 様	
金 10,000 円	
但 政務活動補助業務の日当として 平成 30年 4月分	
上記正に領収しました	

- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。

領収書等添付票


費目	人件費	整理番号	1-3
【領収書その他の書面の添付欄】			
			
4月分給与 ¥150,000			
按分割合 1/3			
政務活動費充当額 ¥75,000			
領 収 証			
高瀬利也様		30年4月25日	
 ★ ¥150,000			
但 4月分給与 上記正に領収いたしました			
内 訳 税抜金額 消費税等 (%)			

- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-4
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】


 4月分給与 736,000-

 按分割合 1/3

 政務活動費充当額 718,000-

領 収 証

No. _____


30年 5月 7日

高瀬 利也 様

¥ 36,000 -

但 4月分給与として (12日分)
上記正に領収いたしました

内 訳	
現金	
小切手	/
手形	/
消費税額 (%)	



- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。




領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-5
【領収書その他の書面の添付欄】			
5月分手当として			
<u>政務活動費充当額 7/10,000</u>			

領収書	平成 30年 5月 25日
山口県議会議員 高瀬 利也 様	
金 10,000 円	
但 政務活動補助業務の日当として	
平成 30年 5月分	
上記正に領収しました	




- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-6
<p>【領収書その他の書面の添付欄】</p> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">  5月分給与 7150000 <hr/> 按分割合云 政務活動費充当額 775000 </div> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> <p>領 収 証</p> <p>高瀬利也様 20年5月25日</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ★ 7150,000- </div> <p>但 5月分給与 上記正に領収いたしました。</p> <div style="margin-top: 20px;"> <p>内 訳</p> <p>税抜金額 </p> <p>消費税等 (%) </p> </div> </div>			


- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。


領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-7
<p>【領収書その他の書面の添付欄】</p> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">  5月分給与として 731500 <hr/> 按分割合 1/3 政務活動費充当額 715750 <hr/> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 100px;"> <p>領 収 証</p> <p>高瀬利也 様 4 30年6月6日</p> <hr/> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 20px;"> <p>★</p> <p>731500</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>但 5月分給与として (11日分) 上記正に領収いたしました</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;">  <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 40%;"> <p>内 訳</p> <hr/> <p>税抜金額</p> <hr/> <p>消費税等 (%)</p> <hr/> </div> <div style="width: 55%;">  </div> </div> </div> </div>			

- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-8
【領収書その他の書面の添付欄】			
 6月分手当として <u>政務活動費相当額 10,000-</u>			

領収書	平成 30年 6月 25日
山口県議会議員 高瀬 利也 様	
金 10,000 円	
但 政務活動補助業務の日当として 平成 30年 6月分	
上記正に領収しました	

- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-9
----	-----	------	-----

【領収書その他の書面の添付欄】



6月分給与 7150,000

按分割合

政務活動費充当額 775,000

領 収 証

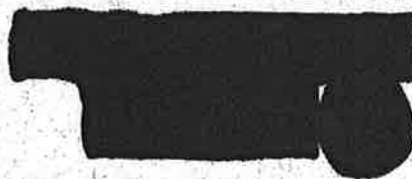
高瀬利也様

20年 6月 25日

★ 7150,000

但 6月分給与
上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税等 (%)




- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。


領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-10
<p>【領収書その他の書面の添付欄】</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p>6月分給与として 739,000</p> <hr style="width: 50%; margin: 5px auto;"/> <p>按分割合 $\frac{1}{2}$</p> <p>政務活動費入当額 719,500</p> <hr style="width: 50%; margin: 5px auto;"/> </div>			
<h3>領 収 証</h3>			
<p style="font-size: 1.2em;">高瀬利也様</p>		<p>14 30年 7月 11日</p>	
<p>但 6月分給与として (13日分) 上記正に領収いたしました</p>			
<p>内 訳</p> <p>税抜金額</p> <p>消費税等 (%)</p>			

- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-11
【領収書その他の書面の添付欄】			
 7月分 手当として <u>政務活動費 額 10,000</u>			

<h2>領 収 書</h2>	平成 30 年 7 月 25 日
山口県議会議員 高瀬 利也 様	
金 10,000 円	
但 政務活動補助業務の日当として 平成 30 年 7 月分	
上記正に領収しました	

- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-12
----	-----	------	------

【領収書その他の書面の添付欄】



7月分給与 7150000

按分割合 3

政務活動費充当額 775000

領 収 証

高瀬利也様

30年 7月 25日

★ 7150,000-

但 7月分給与
上記正に領収いたしました

内 訳
 税抜金額
 消費税等 (%)




- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-13
----	-----	------	------

【領収書その他の書面の添付欄】


 7月分 給与として
¥33,000
 按分割合
 政務活動費充当額 ¥16,500

領 収 証

No. _____

30年 8月10日

高瀬 利也 様

¥ 33,000-


但 7月分 (12日分) 給与として
上記正に領収いたしました

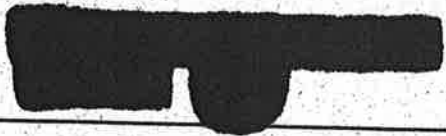
内 訳	
現 金	
小 切 手	/
手 形	/
消費税額 (%)	




- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。


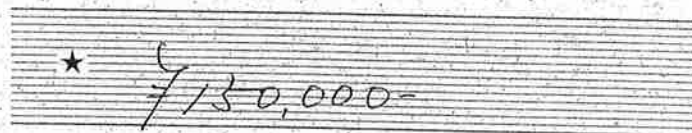

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-14
【領収書その他の書面の添付欄】			
			
8月分手当として			
政務活動員売当額 <u>¥10,000</u>			

<h2>領 収 書</h2>	平成 30年 8月 25日
山口県議会議員 高瀬 利也 様	
金 10,000 円	
但 政務活動補助業務の日当として 平成 30年 8月分	
上記正に領収しました	

- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-15
【領収書その他の書面の添付欄】			
			
8月分給与 715,000			
按分割合 1/3			
政務活動費等 775,000			
領 収 証			
高瀬利也様			
30年8月25日			
			
但 8月分給与 上記正に領収いたしました			
内 訳			
税抜金額			
消費税等 (%)			
			


- 注) 1. 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2. 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3. 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。


領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-16
<p>【領収書その他の書面の添付欄】</p> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;"> <p>8月分給与 728,500</p> <p>按分割合 $\frac{1}{2}$</p> <hr/> <p>政務活動費充当額 714,250-</p> </div>			
<h2>領 収 証</h2> <p style="font-size: 1.2em;">高瀬 利也様</p>		No. _____ 30年 9月 10日	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ¥ 285,000- </div>			
但 8月分給与として(10日分) 上記正に領収いたしました			
内 訳 現金 _____ 小切手 _____ / 手形 _____ / 消費税額(. %) _____			

注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。








領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-17
【領収書その他の書面の添付欄】			
			
9月分手当として			
<u>政務活動費当額 710,000-</u>			

<h2>領 収 書</h2>	平成 30 年 9 月 25 日
山口県議会議員 高瀬 利也 様	
金 10,000 円	
但 政務活動補助業務の日当として 平成 30 年 9 月分	
上記正に領収しました	


- 注) 1. 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
2. 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
3. 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。


領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-18										
【領収書その他の書面の添付欄】													
<div style="text-align: right; margin-right: 100px;">  9月分給与 7 28,500 <hr/> 按分割合 1 政務活動費 充当額 7 14,250 </div>													
<p>領 収 証</p> <p>No. _____</p> <p>30年 10月 5日</p> <p>高瀬 利也 様</p>													
<p>¥ 28,500 -</p>													
<p>但 9月分給与 10日分とて 上記正に領収いたしました</p>													
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; border-bottom: 1px solid black;">内 訳</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">現 金</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">小 切 手</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">/</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">手 形</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">/</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">消費税額 (%)</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> </table>				内 訳		現 金		小 切 手	/	手 形	/	消費税額 (%)	
内 訳													
現 金													
小 切 手	/												
手 形	/												
消費税額 (%)													

- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。



領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-19
【領収書その他の書面の添付欄】			
 10月分手当として 政務活動費充当額 <u>710,000-</u>			

<h2>領 収 書</h2>	平成 30 年 10 月 25 日
山口県議会議員 高瀬 利也 様	
金 10,000 円	
但 政務活動補助業務の日当として 平成 30 年 10 月分	
上記正に領収しました	


- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。


領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-20
<p>【領収書その他の書面の添付欄】</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  10月分給与として ￥4,212.00 <hr/> 按分給与 政務活動費充当額 2,060- </div>			
<p>領 収 証</p> <p style="font-size: 1.2em;">高瀬利也 様</p>		<p>No. _____</p> <p>20年 11月 7日</p>	
<p>¥ 4,212.00-</p> <p>但 10月分給与として (13日分) 上記正に領収いたしました</p>			
内 訳			
現 金			
小 切 手			
手 形			
消費税額 (%)			

注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。





領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-21
【領収書その他の書面の添付欄】			
 11月分手当として 政務活動費支給額 710,000-			

<h2>領 収 書</h2>	平成 30 年 11 月 25 日
山口県議会議員 高瀬 利也 様	
金 10,000 円	
但、政務活動補助業務の日当として 平成 30 年 11 月分	
上記正に領収しました	


- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。


領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-22
<p>【領収書その他の書面の添付欄】</p> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;">  <u>11月分給与 ¥ 37,260</u> 按分割合 1/2 <u>政務活動費充当額 ¥ 18,630</u> </div>			
<p>領 収 証</p>			
<p>高瀬 利也 様</p>		<p>平成 30 年 12 月 3 日</p>	
<p>★ <u>¥ 37,260</u></p>			
<p>但 11月分給与として (12日分) 上記正に領収いたしました</p>			
<p>内 訳 </p>			
<p>税抜金額 </p>			
<p>消費税等 (%) </p>			

- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。



領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-23
【領収書その他の書面の添付欄】			
			
12月分手当として			
<u>政務活動費充当額 710,000-</u>			

<h2>領 収 書</h2>	平成 30 年 12 月 25 日
山口県議会議員 高瀬 利也 様	
金 10,000 円	
但 政務活動補助業務の日当として 平成 30 年 12 月分	
上記正に領収しました	


- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。


領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-24										
<p>【領収書その他の書面の添付欄】</p> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">  12月分給与として 735640 <hr/> 按分割合5 政務活動費充当額 17820 </div>													
<h2>領 収 証</h2> <p>高瀬利也 様</p>		No. _____ 31年 1月 9日											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ¥ 33,640 </div>													
但 12月分給与として(11日間分) 上記正に領収いたしました													
<table border="0"> <tr><td>内 訳</td><td>_____</td></tr> <tr><td>現金</td><td>_____</td></tr> <tr><td>小切手</td><td>_____ /</td></tr> <tr><td>手形</td><td>_____ /</td></tr> <tr><td>消費税額 (9%)</td><td>_____</td></tr> </table>	内 訳	_____	現金	_____	小切手	_____ /	手形	_____ /	消費税額 (9%)	_____			
内 訳	_____												
現金	_____												
小切手	_____ /												
手形	_____ /												
消費税額 (9%)	_____												

注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。




領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-25
【領収書その他の書面の添付欄】			
 政務活動費当額 1月分 給与 710,000			

<h2>領 収 書</h2>	平成 31 年 1 月 25 日
山口県議会議員 高瀬 利也 様	
金 10,000 円	
但 政務活動補助業務の日当として 平成 31 年 1 月分	
上記正に領収しました	

注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。

領収書等添付票


費目	人件費	整理番号	1-26
<p>【領収書その他の書面の添付欄】</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  1月分給料として ￥34,020- <hr/> 按分割合 1/2 政務活動費充当額 ￥17,010- </div>			
<p>領 収 証</p> <p style="font-size: 1.2em;">高瀬 利也 様</p>		<p>No. _____</p> <p>31年 2月 / 日</p>	
<p>¥ 34,020</p>			
<p>但 1月分給料として (11日分) 上記正に領収いたしました</p>			
内 訳	 		
現 金			
小 切 手			
手 形			
消費税額 (%)			

- 注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-27
----	-----	------	------

【領収書その他の書面の添付欄】

 2月分給与
 ¥120,000

按分割合 1/3

政務活動費充当額 ¥60,000

領収証

高瀬利也 様

No. _____

金額	¥	1	2	0	0	0	0	-
----	---	---	---	---	---	---	---	---


収 入
 印 紙

内 訳
 現金 _____
 小切手 /
 手形 /

但 2月分給与 (12日分)

31年 2月 25日 上記正に領収いたしました

消費税額等(%) _____




係印

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-28										
<p>【領収書その他の書面の添付欄】</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> 2月分給与 ¥ 32,400- <hr style="width: 100%;"/> 按分割合 1/2 政務活動費充当額 16,200- <hr style="width: 100%;"/> </div>													
<h2 style="margin: 0;">領 収 証</h2> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">高瀬利也 様</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p style="margin: 0;">No. _____</p> <p style="margin: 0;">4 年 3 月 11 日</p> </div> </div>													
<div style="border: 1px solid black; background-color: #f0f0f0; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="margin: 0;">¥ 32,400-</p> </div> <p style="margin-top: 10px;">但 2月分給与として 上記正に領収いたしました</p>													
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; border-bottom: 1px solid black;">内 訳</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">現 金</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">小 切 手</td> <td style="border-bottom: 1px solid black; text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">手 形</td> <td style="border-bottom: 1px solid black; text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">消費税額 (%)</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> </table> <div style="margin-top: 20px; text-align: right;"> </div>				内 訳		現 金		小 切 手	/	手 形	/	消費税額 (%)	
内 訳													
現 金													
小 切 手	/												
手 形	/												
消費税額 (%)													

注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。

領収書等添付票

費目	人件費	整理番号	1-30
<p>【領収書その他の書面の添付欄】</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p>3月分給与と17</p> <p style="margin-left: 20px;">7 67,230-</p> <hr style="width: 100%;"/> <p>按分割合$\frac{1}{2}$</p> <p>政務活動費充当額 7 33,615-</p> <hr style="width: 100%;"/> <p>3月勤務日(17日)</p> <p>1日・2日・3日・6日・8日・11日・12日・13日・15日</p> <hr style="width: 100%;"/> <p>18日・19日・20日・22日・23日・24日・25日・27日</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>領 収 証</p> <p style="margin-left: 100px;">⁷⁰31年4月9日</p> <p>高瀬利也 様</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>★ 7 67,230-</p> <p>但 3月分給与と17 (17日分)</p> <p>上記正に領収いたしました</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>内 訳</p> <p>税抜金額 _____</p> <p>消費税等 (%) _____</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> </div>			

注) 1 領収書その他の書面には「当該支出の目的」を付記すること。
 2 按分による支出がある場合は、「領収書その他の証拠書類の添付欄」の余白に按分の割合及び按分による支出額を付記すること。
 3 按分による支出以外で経費の一部に政務活動費を充当した場合は、領収書等添付票の余白に政務活動費による支出額を付記すること。



アイデアル
Ideal = 理想

利創は郷土愛デアル

皆様のご支援をいただき山口県議会1期4年間全力で走って参りました。
誠に感謝申し上げます。ふるさと下関にはまだまだ多くの課題が残っております。
理想のふるさとづくりを目指し、粉骨砕身働いて参ります。
引き続きのご支援お願い申し上げます。



- 利創1 地域の個性を活かして経済を元気にします。
- 利創2 教育者としての経験を活かし、未来を担う人材の育成に努めます。
- 利創3 安心・安全に暮らし続けられる医療の充実と福祉力の強化をめざします。
- 利創4 女性が活躍できる地域社会の確立をめざします。
- 利創5 地域ニーズと産業構造の変化に対応した必要なインフラ整備を推進します。



川棚温泉から萬留島を望む

山口県議会議員

たかせ 利也

海・まち・山の美こそ山口県の利也

海峡と里山・里海の宝を民間活力でつなぎオール下関の文化観光振興で豊かな暮らしの実現を目指します。

出身 下関市豊浦町川棚出身
生年月日 昭和39年4月14日
学歴 山口県立豊北高等学校卒業 / 二松学舎大学文学部国文学科卒業

経歴

九州女子学園高等学校 教諭(担当:国語)
平成10年 (株)瓦そば たかせ入社

平成10年 (株)瓦そば たかせ 代表取締役就任
平成21年 川棚温泉まちづくり(株) 代表取締役就任

豊浦町観光協会 会長
川棚温泉観光協会 会長
豊浦地域ふるさとづくり推進協議会 会長
下関市商工会 副会長

(一社)豊浦産業振興事業団 理事長
(有)川棚温泉開発 代表取締役
社会福祉法人 囀会 理事
下関海洋科学アカデミー 理事
(しものせき水族館 海響館)

川棚小学校PTA 会長
豊瀬閣後援会 会長
山口県議会 文教警察委員会 副委員長

高瀬利也事務所

〒759-6301
山口県下関市豊浦町川棚5315-1
TEL 083-772-0004
FAX 083-774-1010

<http://takase.link>

高瀬利也

検索





観光力強化に向けた取組について

近年の旅行形態は団体客から個人客にシフトし、消費動向もモノからコトに変化している。こうした変化に対応できる情報伝達の仕組みと二次交通の一層の充実等の基盤整備をはじめとした観光力の強化が求められている。

よる体験型コンテンツの造成と販売促進に向けて、事業者への支援制度を幅広く周知していきます。



正司観光スポーツ文化部長の答弁

村岡知事の答弁

観光地が分散している本県では、空港や新幹線駅と観光地を結び二次交通の充実が課題です。好評の周遊バスには新コースを加えてモニターツアーや実証運行に取り組み、またマイカーやレンタカー向けに観光地名表示型道路標識の順次導入を進めているところ。公共交通機関の乗り継ぎについても、新幹線と在来線の接続ダイヤの改善について引き続きJRへ要望するとともに、民間事業者に

観光地が分散している本県では、空港や新幹線駅と観光地を結び二次交通の充実が課題です。好評の周遊バスには新コースを加えてモニターツアーや実証運行に取り組み、またマイカーやレンタカー向けに観光地名表示型道路標識の順次導入を進めているところ。公共交通機関の乗り継ぎについても、新幹線と在来線の接続ダイヤの改善について引き続きJRへ要望するとともに、民間事業者に

川棚温泉まつり
川棚温泉の守護神・青龍を祀る行事。1660年から続く「せぎもち」は無病息災の万年願として青龍へおもちを捧げる珍しい神事。夜祭として「ほしぞら緑日・ライブバー&キッチン」も加わり、新しい交流スタイルも提案。



山頭火俳句コンテストの表彰式



北浦さかなまつり in 特牛
美しい北浦の海の漁業振興をはじめ水産都市下関の活性化に取り組みます。



川棚の杜・コルトーホールでは、「川棚・コルトー音楽祭」や「全国山頭火フォーラム」など地域の物語を活かした文化交流が行われています。



川棚を愛したピアニスト、アルフレッド・コルトーを縁に、下関市とパリ エコール・ノルマル音楽院とのパートナーシップを結び、日仏交流を促進。

川棚ひなまつり in CAFE 孤留島



地元の方が心をこめて作ったつるしかざりとりちりめん細工で、川棚の杜が華やかに彩られました。「梅とひなまつり」をテーマに、「梅まつりin妙青寺」「お雛茶屋inコルトーホール」「節句かざりのいま・むかし」と連動して、春の訪れをまちと一緒に演出しました。

地域の物語でつなぐ「里庭のまちづくり」



建築家 隈研吾先生と取り組む地元のまちづくり計画。「里庭のまちづくり」を合言葉に、なだらかな山と島に包まれた場所と道を、豊浦らしい物語と緑でつなぐ未来予想図を計画中。

隈 研吾氏

川棚の杜・コルトーホール、東京オリンピック・杜のスタジアムなどを設計。世界的に注目される建築家。

稼げる農業の構築に向けて



農業改革
ブランド化
に取り組んでいます。

有機農業生産者と地元マルシェイベントにて、豊かな風土をいかした一次産業と地域の活性化に取り組む。

■ 市場ニーズの把握について

本県農業を稼げる産業へと発展成長させるためには、生産だけでなく流通や販売に関しても施策展開を充実させる必要があり、特に売れるものづくりには、市場ニーズの把握が重要ではないか。

山根農林水産部長の答弁

市場ニーズの把握に向けては、まずは県産農産物の量や品質など需要動向を明らかにし、県産農産物のニーズや評価を農家自身がしっかり把握できる体制づくりを進めます。具体的には、大都市圏のバイヤーによる商談会や産地交流に加えて、マーケティングなど経営ノウハウを学べる「やまぐち専農塾」や6次産業化の人材育成研修の充実を図ることで、意欲ある農家の資質向上の支援に取り組めます。

■ 普及指導体制について

「いいものを作ったから売れるはず」という生産ありきの農業から「売れるものを作る」消費者需要型の農業へシフトするには、農業現場における指導員をはじめとする普及指導活動の充実が必要と考える。

山根農林水産部長の答弁

4月に発足する単一農協JA山口県では、農家の所得増大と農業生産の拡大を重視し、営農指導員も大幅に増員する予定です。県としては、この機会にJAの営農指導活動との連携を一層強めて、専門的な実技研修に加えて、普及指導員がモデル的に実証した新技術を地元で精通した営農指導員が広く波及させる等の役割分担と連携強化により、新たな指導体制の確立と資質向上に努めます。

地元でとれた農産物や海産物などを販売する「とんがりぼうし豊浦」にて。運営は自らが理事長を務める「(一社)豊浦産業振興事業団」



株式会社ミコー食品

高森和牛を中心にブランド力の向上、海外輸出も行うなど、販路拡大を積極的に展開している取り組みについて説明を受けました。



子育て世代が安心して働ける環境の充実を

■ 病児保育の充実に向けた取組について

病児保育事業は市町が主体となって実施する事業だが、子育て世代のニーズを踏まえた病児保育施設の充実には、県が音頭を取って市町との連携を強化することが必要ではないか。



過去二回の病児保育に関する質問により、病児保育施設も増加し予算も拡充しています。各自治体の垣根を越えた病児保育施設の広域利用解禁に取り組んでいます。

中野健康福祉部長の答弁

居住地以外の勤務地の施設に預けたいというニーズや質の高いサービスを求める子育て世代の声に対応し、中山間地域でも病児保育施設が安定的に運営されるよう国庫補助の拡充を要望し、施設の設置拡大と、居住地に関係なく市町の垣根を超えて希望する自治体で施設の利用ができるよう改善を進めてまいります。



山口県総合医療センター少子化の進行を食い止めるため、安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりのための取り組みについて説明を受けました。

人材確保対策の強化について

企業活動の現場では人手不足の問題が厳しくなっている。人材確保対策の強化に今後どのように取り組むのか。

矢敷商工労働部長の答弁

深刻な人手不足を解消するには、若者の県内企業への就職と県外在住者の県内就職の双方を促進する必要があります。それには就職支援情報の環境を整備し、

これまで個別に発信していた就職情報、企業情報、就職支援策等を一元化したスマホアプリ配信を予定しています。また、県外27の大学と締結している就職支援協定の中身を強化するとともに、大都市圏からの移住希望者の一層の掘り起こしに努め、一人でも多くの若者や県外在住者が本県産業を支える人材として活躍できるよう人材確保対策に積極的に取り組みます。



山口県活性化番組組ムープマン・ネオの交流会に参加し、大学生と意見交換をしました。

中小企業支援について

県内の企業、特に中小零細企業や自営業では、人手不足に加えて後継者問題が深刻化しており、支援体制の充実が求められている。

村岡知事の答弁

経営者の高齢化が進み、後継者不在率が全国でワースト二位とされる本県におい

ては、支援体制を一層強化しなければなりません。そこで、新たに事業引継ぎ支援センターに専門家チームを編成し経営改善等の個別課題に対応します。また、山口県事業承継支援ネットワーク会議に専任のコーディネーターを配置し、支援機関の連携を強化してまいります。



【田布施町小行司地域】ネットワーク化した基礎生活圏を形成し、地域産業の振興や人口定住の促進等を旨とする取り組みについて説明を受けました。

有限会社アクアテクニカル 健康維持や人材確保を目的に、同社が推進する働き方改革の取組等について説明を受けました。

山口県若者就職支援センター 就職支援に向けた取り組みについて調査するため、「山口県若者就職支援センター」を訪問し、説明を受けました。

消費者被害防止対策の推進について

本県におけるウソ電話詐欺の被害者の半数が高齢者であり、成人年齢を18歳に引き下げる改正民法の施行を機に、今後は若者を標的にしたローン契約等のトラブル拡大も懸念されている。



若年消費者被害防止啓発チラシ

佐伯環境生活部長の答弁

詐欺被害の防止には地域ぐるみの体制が必要です。このため、警察や民生委員等で構成する見守りネットワークに加え、地域住民や事業者による見守りサポーター制度を設けることとし、さらには大学や学校現場と連携し若者を対象とした啓発活動や消費者教育を充実させることで、消費者被害の防止に全力で取り組んでいきます。

北朝鮮による日本人拉致問題への取り組み

北朝鮮による日本人拉致問題は一日も早い解決が求められている。県や市町の議会でも議員連盟による活動を続けており、今後も早期解決に向けた取組を強力に粘り強く続けていくことが求められている。

中野健康福祉部長の答弁

拉致問題は、本県においても拉致の可能性を排除できない方々が十一名おられ、御本人とその御家族の高齢化が進む中、一刻も早い解決が求められています。県では、県民の関心を喚起し世論を高めるための普及啓発に取り組むとともに、拉致被害者の帰国後の支援について検討を行っています。今後も、国際情勢等を見極めながら、国県市町、関係団体、住民が一体となって拉致問題の解決に向けて取り組んでまいります。

循環型社会の形成について



本県の豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくためには、廃棄物の3R※の取組を進めることにより、循環型社会を形成していくことが求められている。ごみ減量化、資源循環型産業の育成、フードバンク活動支援等の成果を踏まえて今後どのように取り組むのか。

※3R(スリーアール)＝循環型社会の形成に必要な3つのR。Reduce(リデュース、減らす)・Reuse(リユース、再利用)・Recycle(リサイクル、再資源化)。

佐伯環境生活部長の答弁

本県の県民一人当たりのごみ排出量は、依然として全国平均を上回っており、ごみ減量化対策の強化が重要な課題です。特に食品ロスの削減を目指して平成30年度に開始したフードバンク活動は、食品の寄贈を受ける常設のフードバンクポストが2箇所から9箇所へ拡大、寄贈量も約5倍に増えました。4月以降は、フードバンクの拡大と定着に向けて、食品の賞味期限や保管場所等の情報を一元管理できるシステムを開発し、食品製造業者への調査により未利用食品の掘り起こしを行う予定です。

高瀬議員 活動風景



安倍晋三内閣総理大臣を囲む会より



瓦そばの歴史と調理方法を伝える
地元 下関北高校の生徒へ地元の食文化「瓦そば」の歴史と調理方法を伝える。



山口県立下関北高等学校 開校式・入学式
下関北高等学校の開校と同時に、地域に根差したコミュニティスクールも開講。



あへ晋三 新春の集い
内閣総理大臣 安倍晋三 新春の集い
下関豊北町で開催された安倍総理の新春の集いで、ご挨拶させて頂きました。

文教警察委員会の活動



県内視察 高速道路交通警察隊



県内視察 県立大津緑洋高等学校



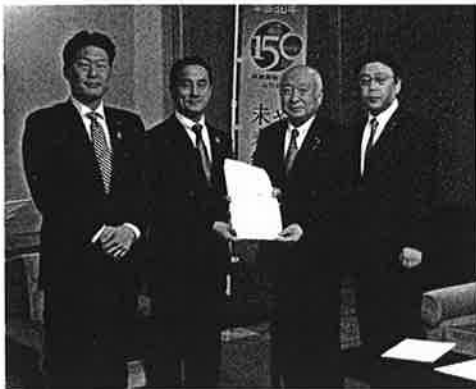
県外視察 高知県立高知城歴史博物館



県外視察 土佐中学校・高等学校

地方創生 加速化委員会

「地方創生加速化特別委員会」副委員長として提言書を村岡知事に提出!!



柳居俊学議長、吉田充宏委員長、高瀬利也副委員長から知事に対して、本委員会できりまとめた提言書を提出しました。

① 産業振興による雇用の創出

中小企業や農林水産業などの魅力の一層の向上に向けて、県内産業の収益力アップや労働環境の改善等の取組に対する支援を強化していくとともに、地域の活力を生み出す創業を一層促進するよう提言しました。

② 人材の定着・還流・移住の推進

本県が有する様々な強み、魅力等を県内外に着実に届けていくためには、まずは県民による理解を深めるとともに、情報の一方的な発信だけでなく受取側との双方向のやり取りを活性化することが重要であると提言しました。

③ 結婚・出産・子育て環境の整備

就業や、結婚、子育てなど、自らのライフプランを希望に沿って形成できるように、若い世代から正しい情報を伝えていくことが一層重要になってくるという意見が聞かれた。さらに、本県医師の高齢化率は全国平均よりも高く、医師の確保、養成、定着を早急に進めるべきと提言しました。



④ 女性の活躍促進、高齢者等が活躍できる地域づくり

地方創生の源である地域の活性化を図るためには、県民誰もが、性別や年齢、障害の有無等に関係なく、その能力や個性を発揮して活躍することができる環境づくりを強化していくことが必要であると提言しました。

⑤ 持続可能で元気な地域社会の形成

行政サイドも含めて、意欲ある人材が必要という意見が多く聞かれた。地域の活力を牽引できる人材を発掘・育成し、地域の主体的な取組を支援する行政側の体制の充実が必要であると提言しました。

地元の地域資源を活かした様々な交流事業

かわたなおんせん まちなかマルシェ



有機野菜&果物(有機JAS認定)、ハンドメイド雑貨、ハーブ、アロマ、スイーツなど、素材にこだわる地域の人たちが愛情込めてつくったものを直接販売。



歴史ウォーク

川棚温泉観光ボランティアガイドによる「歴史ウォーク」事業。美しい風土が育んだ物語を楽しみながら里山を巡る。

第13回 豊浦リフレッシュ マラソン

地元の美しい里山ルートを楽しみながら健康づくりを推進するマラソン大会。



美しい地元のルートを活かしたドライブ&ツーリングイベント。



【徳山下松港晴海埠頭】

県内企業の国際競争力の強化を図るため、港湾の整備促進と、周南パルクターミナルの説明を受けました。



【ココマーケティング株式会社】

時短勤務や効率改善を進めるためのオフィス環境の整備に係る取組等について説明を受けました。



【株式会社グループノーツ】

子育て支援とIT人材育成を両立させるアフタースクール「TECH PARK」について、説明を受けました。



【株式会社シーパーツ】

IoTやビッグデータ、AI(人工知能)などを活用し、業務拡大を図る取り組みについて説明を受けました。

地域の物語を活かした文化振興



豊浦・川棚では、「川棚の杜・コルトーホール(隈研吾氏設計)」を交流拠点の中心として、豊かな自然美が育んだ物語を活かした「文化観光振興」と「美しい景観づくり」に取り組んでおります。



第9回川棚・コルトー音楽祭

「京都フランス音楽アカデミー特別演奏会」
エマニュエル・シュトロッセ(ピアノ)

川棚とコルトーの物語をいかした音楽のまちづくり。コルトーが愛した川棚で世界最高峰の音楽を身近に体感頂く日仏交流プログラム。



みんなで歌おう!

毎月1回、なつかしい楽曲を中心に軽やかな人気イベント「歌謡音楽祭」の楽しさを知るシニアの皆さんの県内外から沢山集います。

平成30年度
自由民主党



山口県議会議員 高瀬利也



ごあいさつ

平素は、格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成30年度山口県予算に反映した、私の県議会活動の成果をまとめた小冊子「くらしと県政」をお届け致します。

「くらしと県政」は、各市町・友好団体等より寄せられたご意見・ご要望を取りまとめ、また、地域代表としての私が日常活動を通じて得た皆様の声を、党県連部内会議で強く要望し、県の施策、予算に反映した成果を取りまとめたものであります。

今後とも、皆様のご意見・ご要望には全力をもって取り組み、ご期待に添うよう努力する決意であります。

引き続き、ご支援を頂きますようお願い申し上げます、ごあいさつと致します。

山口県議会議員 高瀬利也

目 次

1 平成30年度予算の概要	1
2 平成30年度予算のポイント	
「明治150年」の開花と未来への継承	3
新たな「3つの維新」の始動	3
財政健全化に向けた行財政構造改革の確実な具現化	9
3 平成30年度予算の主な事業	
I 明治150年プロジェクト関連事業	10
II 「3つの維新」関連事業	
(1) 産業維新	11
(2) 大交流維新	19
(3) 生活維新	21
付録 平成30年度予算各種図表	35

1 平成30年度予算の概要

予算の規模 6,730億円 (前年度比△79億円 △1.2%)

当初予算編成の基本的な考え方

1 「明治150年」の開花と未来への継承

県民や市町をはじめ、県内のあらゆる主体と一体となって取り組む「山口ゆめ花博」の開催などを通じて県全体の活力を高め、明治150年を契機とするこれからの県づくりにつなげる。

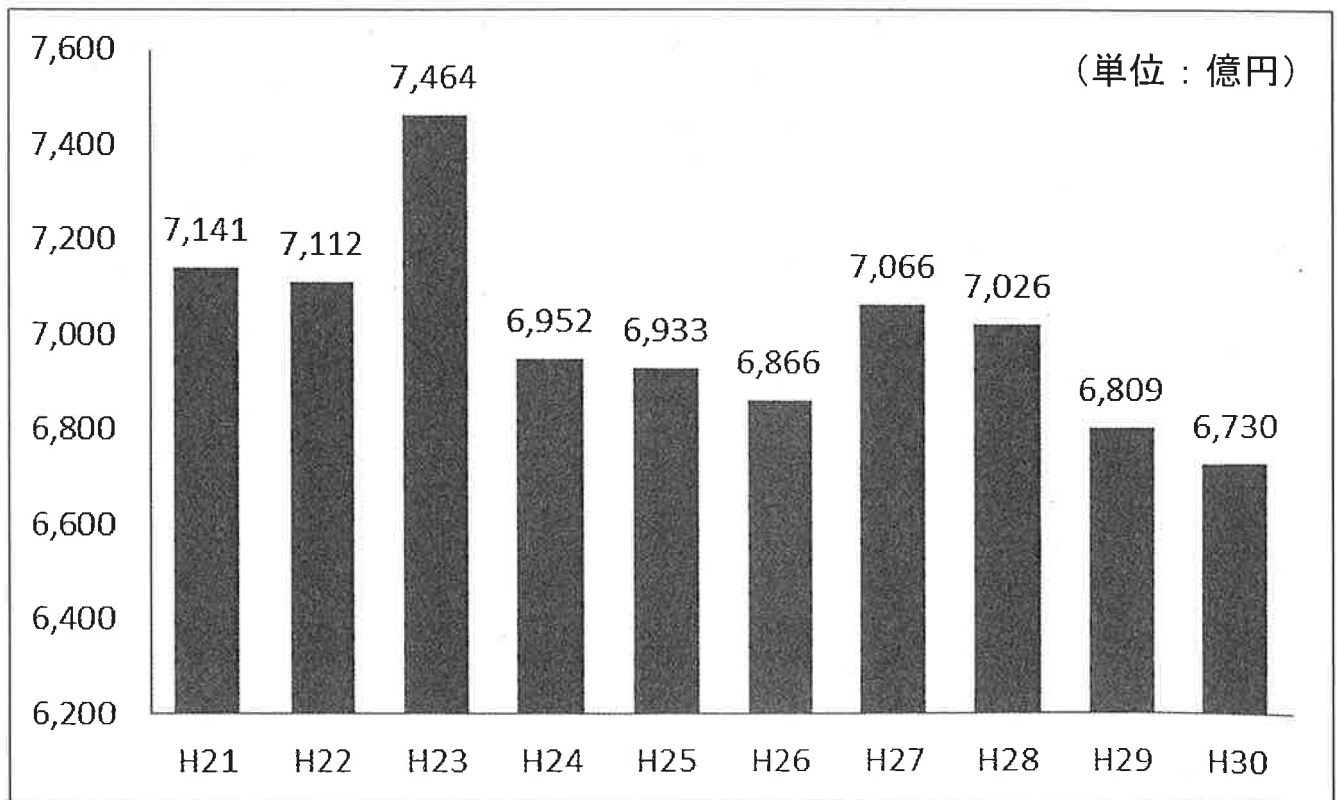
2 新たな「3つの維新」の始動

これまでの県づくりの成果の上に立ち、最重要課題である人口減少問題や地方創生の実現など、県政が直面する課題に立ち向かっていくため、山口県の未来を切り拓く「3つの維新」への挑戦に向けた、新たな施策を推進。

3 財政健全化に向けた行財政構造改革の確実な具現化

行財政改革統括本部で取りまとめた方向性に沿って、歳出構造改革や財源確保対策の取組を確実に具現化し、収支均衡した財政構造への転換に向けて一定の道筋をつけた。

◆予算規模の推移（一般会計予算）

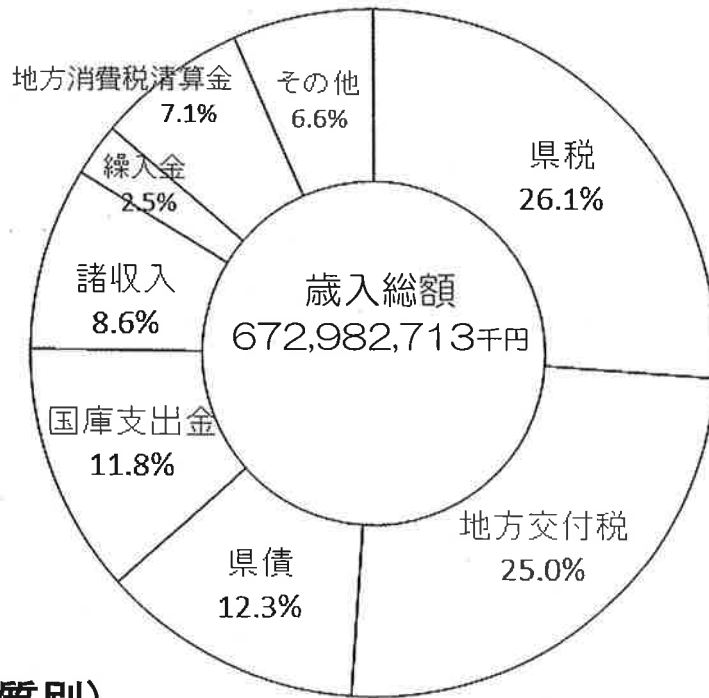


※当初予算ベース。H26は肉付け補正後予算。

歳入

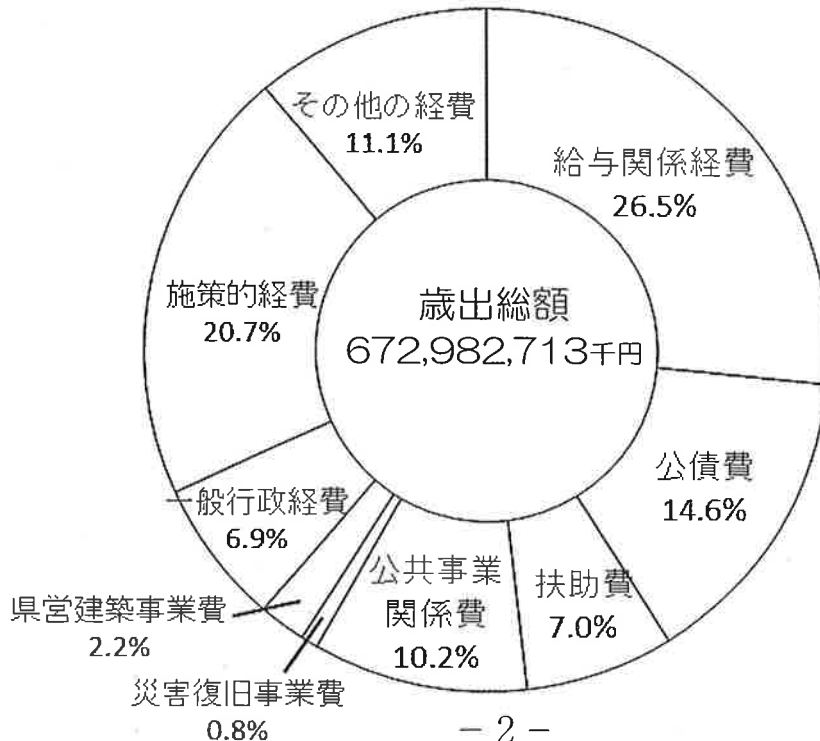
- ◇県 税 1,758 億円(+ 7 億円、+ 0.4%)
- ◇地方交付税 1,684 億円(+ 7 億円、+ 0.4%)
- ◇国庫支出金 792 億円(△ 3 億円、△ 0.3%)
- ◇県 債 826 億円(△22 億円、△ 2.6%)

※特別分(地方交付税振替等分) △4.3% 一般分 △1.5%



歳出 (性質別)

- ◇給与関係経費 1,782 億円(△25 億円、△1.4%)
- ◇公 債 費 986 億円(△70 億円、△6.6%)
- ◇公共事業関係費 684 億円(△17 億円、△2.4%)
- ◇施策的経費 1,397 億円(△29 億円、△2.0%)



2 平成30年度予算のポイント

■「明治150年」の開花と未来への継承

《明治150年プロジェクト「やまぐち未来維新」》

山口ゆめ花博

これまでにない感動と驚きを発見できるイベントにより、全国に向けて山口県の新しい魅力と活力を発信

[開催期間] 平成30年9月14日～11月4日

[会場] 山口きらら博記念公園（山口市）

- ・楽しみながら維新を体感できる「維新体験館」を会場内に設置
- ・明治150年記念式典・若者国際シンポジウム等の開催

幕末維新回廊

明治150年を契機に各地で開催される企画展を楽しみながら県内を「めぐる」全県的なイベントを展開

[開催期間] 平成30年5月～12月

[参加施設] 県内約30の博物館・資料館等

- ・パークロード周辺会場
- ・エリア別会場（中部、西部、北部、東部）

その他の取組

- 県民の意識啓発・機運醸成
- 未来を担う人材の育成
- 国内外に向けた情報発信・PR
- 歴史の保存・顕彰・継承



■新たな「3つの維新」の始動

I 産業維新

産業力の強化と成長分野でのイノベーションの創出

新 新たなバイオ関連産業の創出

○産業イノベーションの加速

新 市町等が行う再エネ水素ステーション設置に対する補助

○産業基盤の整備

中堅・中小企業の成長・安定・創業支援

新地域中堅・中核企業に対する支援の強化

- ・地域経済牽引企業を対象とした新規融資の創設

新中小企業の生産性向上・産業人材育成への支援

新若者就職支援センターの機能強化

新宇宙利用産業の創出

- ・県産業技術センターに新設する『宇宙データ利用推進センター』における、山口大学等と連携した宇宙データ活用の研究開発・事業化支援

新航空機・宇宙機器産業への本格参入

○県内就職・定着の促進

- 新春季インターンシップ(短期)の普及、フェスタの開催

○IoT等を活用した事業創出

- 新IoTビジネスプランナーによるハンズオン支援

- 新IoTを活用した新事業に対する新規融資の創設

○創業支援の強化

- 新創業総合ポータルサイトの構築、専門家の派遣

- 新店舗活用創業応援センターで行う空き店舗情報提供や全県的なマッチングシステムの構築

強い農林水産業の育成

○新規就農者の受け皿となる魅力ある産地の拡大

- 新市町が選定したブランド品目の産地計画に基づく生産体制強化や新規就業者用の住宅確保への支援

新国の米政策改革に対応した取組の強化

- ・米の事前契約拡大に向けた大規模流通試験・地域間連携の支援

○農山漁村での女性の活躍促進

- 拡女性農林漁業者向けの経営講座、販路開拓支援等

- 新農林漁業で活躍する女性のネットワーク構築

○農林水産業でのICT活用の促進

新 ロボットやICTなど先端技術を活用したスマート農業等
の実証研究

○酪農業の経営安定・生産基盤の強化

新 市場価格の影響を受けず乳用後継牛を安定的に確保する
全国初の『後継牛バンク』の構築

新 全国和牛能力共進会の成果（全国3位）を活かした取組

○中核的漁業経営体の育成

新 雇用型経営体による他種漁業との複合経営モデルの構築

Ⅱ 大交流維新

国内外との交流の拡大

○明治維新150年を契機とした観光需要の拡大(再掲)

拡 観光キャンペーン『やまぐち幕末ISHIN祭』の展開

拡 平成の薩長土肥連合と連携した広域観光プロジェクト

○山口宇部空港の国際交流拠点化

拡 国際路線の定着・拡大に向けた旅行商品造成支援や運航支
援、国内外需要喚起

拡 乗合タクシーの運行支援による二次交通対策の強化

○東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組の推進

拡 キャンプ地誘致やキャンプ国の県内周遊に向けた支援

新 山口ゆめ花博でのフラッグツアー歓迎イベント

○海外自治体等との国際交流の推進

新 スペイン・ナバラ州との周年記念行事や山口ゆめ花博での
『スペインの日』出展

新 ロシア・クラスノダール地方との経済・文化分野等での交流

国内外への売り込みの強化

新 地域商社と連携した首都圏等への売り込み強化

○ぶちうま！維新による大都市圏・海外に向けた販路開拓

新 高付加価値商品の販路開拓における地域商社との連携

○本県の強みを活かした水産インフラ輸出構想の推進

- **拡**ベトナムへの水産インフラ輸出を目指す県内企業の支援
- 中小企業の海外展開への支援
- **新**やまぐち産業振興財団への海外コーディネーター配置
- **新**海外認証等取得助成金の創設

やまぐちへの人の還流・移住の促新

- 「住んでみいね！ぶちええ山口」県民会議による取組強化
 - **新**移住希望者のニーズに対応した『YY！ターンカレッジ』等の開催
 - **拡**東京支援センター相談員の増員による相談体制の強化
 - **新**移住林業就業者に対する支援
 - ・ 大都市圏（東京・大阪）での就業相談会の開催から県内事業体視察や就業体験までの一体的な実施

Ⅲ 生活維新

(1) 希望を叶える暮らしづくり

結婚から子育てまでの切れ目のない支援

- **新**『やまぐち版ネウボラ』の推進
 - ・ 地域子育て支援拠点を活用し、母子保健相談が受けられる『まちかどネウボラ』として全県で展開
- 『学校内子育てひろば』の開設
 - **拡**家庭や子どもを持つことの楽しさを感じる中高生と乳幼児親子との交流の場の拡大
- **新**病児保育の広域利用体制づくり
 - ・ 全市町参加の広域利用協定の締結推進

働き方改革の推進

- 企業サポート体制の強化
 - **新**企業に身近な民間アドバイザーの養成
 - **新**働き方改革取組支援助成金の創設
- **新**学校における働き方改革の推進
 - ・ 県立高校への校務支援システム等の導入
- **新**建設業における働き方改革の推進

快適な暮らしづくりの推進

新都市公園の新たな利活用によるにぎわいの創出

- ・ 山口ゆめ花博を社会実験の場として活用した、民間のノウハウ等を活かした新たな公園の利活用の展開

○再生可能エネルギーの導入促進

- 新太陽光発電の余剰電力買取期間の順次終了を踏まえた蓄電池導入助成制度の創設

(2)人材の育成と活躍への支援

新時代を創造する子ども達の育成

○コミュニティ・スクールの取組推進

- 新地域連携教育エキスパート・アドバイザー・支援員の配置による学校や地域での取組の活性化

- 新『やまぐち子どもふるさとサミット』や『やまぐち地域連携教育推進フォーラム』の開催

○教育環境整備のための支援の充実

- 新学校業務支援員の配置（小学校・中学校）

- 新部活動指導員の配置（中学校・高校）

誰もが活躍できる地域社会の実現

新山口ゆめ花博を契機とした県民活動の活発化

- ・ ゆめ花博の成果を今後につなげるパートナーシップ会議の開催等

○生涯スポーツの推進

- 新生涯スポーツ推進センターを設置し、市町やスポーツクラブ等が連携したスポーツの場づくりを支援

○女性活躍のサポート強化

- 新女性が働きやすい環境づくりに資する施設整備補助制度の創設

- 新新入社員・新婚夫婦等への『男女共同参画手帳』の配布

- 新『女性管理職アドバイザー制度』の創設に向けた取組

○障害者の社会参加促進

- 新障害者アート作品展や農福連携マルシェの開催

(3)安心・安全で活力ある地域づくり

防災・減災対策の強化

- 新 被災者生活再建支援システムの構築
 - ・罹災証明等の迅速化に向けた全県統一システムの整備
- 県民防災力の充実強化
 - 新 県民参加型シェイクアウト訓練の実施
- 災害危険箇所の事前調査
 - 新 流木発生危険度調査の実施
 - 新 水害リスク実態調査の実施

安心して暮らせる環境づくりの推進

- 若年消費者被害防止の強化
 - 新 若者目線の普及啓発活動、学生消費者リーダーの養成
- うそ電話詐欺被害防止対策の強化
 - 新 ボランティアによる高齢者宅訪問、コンビニ対策強化

保健・医療・介護の充実

- 若手医師確保対策の強化
 - 新 新専門医制度の開始を踏まえた県内研修病院への誘導
- 健康づくり対策の強化
 - 新 健康アプリによる健康づくりの『見える化・日常化』
- がん対策の強化
 - 新 肝がん・重度肝硬変医療費助成制度の創設
 - 新 協会けんぽと連携した被扶養者に対する受診勧奨

活力ある地域づくりの推進

- 中山間地域の活力の向上
 - 新 元気生活圏形成につなげるための周辺集落等への支援
(特別支援員の配置、地域づくりの取組への経費支援)
 - 新 交流拠点・産業振興など複数の地域づくり活動への支援
- コンパクトなまちづくりの推進
 - 新 立地適正化計画策定に資する広域連携ガイドライン作成

■財政健全化に向けた行財政構造改革の確実な具現化

行財政構造改革の方向性と対策

平成33年度（2021年度）までの改革期間を通じ、行財政構造改革の取組を実行することにより、多額の財源不足を解消し、収支均衡した持続可能な財政構造への転換を図る。

改革期間 H29年度(2017年度)～H33年度(2021年度) (5年間)

取組の柱 I 歳出構造改革 II 臨時的・集中的な財源確保対策

改革期間における財源不足の解消

◆改革期間の財源不足見込額 約1,292億円



◆行財政構造改革の効果額 約1,302億円

(内訳)

I 歳出構造改革 約881億円

II 臨時的・集中的な財源確保対策 約273億円

執行段階での節減等 約148億円

歳出構造改革 【効果額：約881億円(H30:169億円)】

○総人件費の縮減 233億円(H30：40億円)

・総定員削減(▲657人) ・給与水準の見直し等

○事務事業の見直し 63億円(H30：12億円)

・「全事業の見直し」(H29)

○公共投資等の適正化 44億円(H30：7億円)

○公債費の平準化 541億円(H30：110億円)

○公の施設の見直し(H30～)

臨時的・集中的な財源確保対策

【効果額：約273億円(H30:64億円)】

○保有基金の取崩し 90億円(H30：8億円)

○保有財産等の活用 52億円(H30：14億円)

○未利用財産等の売却・貸付 31億円(H30：17億円)

○県税収入等の確保 8億円(H30：2億円)

○その他の財源補てん 92億円(H30：23億円)

3 平成30年度予算の主な事業



I 明治150年プロジェクト関連事業

山口ゆめ花博

新山口ゆめ花博開催事業	468,119千円
新山口ゆめ花博推進事業（広報宣伝の実施）	20,000千円
新山口ゆめ花博会場整備事業	80,000千円
○「山口ゆめ花博応援ふるさと納税」推進事業	400,000千円
新「幕末維新回廊」推進事業	128,741千円
明治150年を契機に各地で開催される企画展を楽しみながら県内を「めぐる」全県的なイベントを展開	
新明治150年記念未来へ繋ぐ人材育成事業	31,700千円
新明治150年記念事業	22,314千円
山口ゆめ花博会場で本県の明治150年記念式典等の催事を実施	
○明治150年情報発信事業	2,640千円
新維新やまぐち魅力発信事業	22,005千円
本県魅力情報の近県メディアへの売り込み等を実施	
新明治維新150年やまぐち幕末ISHIN祭推進事業	165,000千円
観光キャンペーン「やまぐち幕末ISHIN祭」の展開	
○やまぐち文化プログラム推進事業（明治150年関連分）	15,000千円
県立美術館にて大規模展覧会「明治150年記念特別展」を開催	
新全国産業教育フェア山口大会開催事業	24,264千円
[大会期間] 平成30年10月20日(土)～21日(日)	
[大会会場] 山口きらら博記念公園(山口ゆめ花博会場)ほか3会場	
○「平成の松下村塾」づくり推進事業	8,452千円

Ⅱ 「3つの維新」 関連事業

(1) 産業維新



① 産業力の強化と成長分野でのイノベーションの創出

- 新**やまぐちバイオ関連産業創出支援事業 27,182千円
医療、環境・エネルギー分野の産業育成・集積を背景に、産学公金の連携によるバイオ関連産業の育成・集積を支援
- 「水素先進県」実現促進事業 66,415千円
- 水素関連技術支援拠点機能強化事業 33,000千円
県産業技術センターによる中堅・中小企業の水素利活用に対する技術支援
- 水素サプライチェーン地域モデル検証事業 5,000千円
周南・下関地域で実施している水素サプライチェーン実証の、事業効果の検証や他地域への展開可能性の検討等を国委託により実施
- 水素サプライチェーン技術開発支援事業 100,300千円
水素利活用に関する県内企業の技術力を集めた水素サプライチェーン(製造・供給設備等)に係る技術開発を支援
- 次世代産業クラスター構想推進事業 41,800千円
次世代産業クラスター構想に基づく研究開発や事業化促進を目的とした体制整備
- 産業戦略研究開発助成事業 48,863千円
医療関連、環境・エネルギー分野において、研究開発及び実証実験の取組を支援
- 次世代産業育成・集積促進事業 5,543千円
医療関連、環境・エネルギー分野において、企業等の県内での設備投資・雇用創出などに繋がる戦略的な研究開発・事業化を支援
- 次世代産業育成チャレンジアップ事業 80,607千円
医療関連、環境・エネルギー分野において、研究開発グループの取組について研究開発・事業化を支援

○やまぐち次世代ベンチャー創出支援事業 20,300千円
医療関連及び環境・エネルギー分野での革新的技術を活かした新事業に取り組む次世代ベンチャー企業の円滑な立ち上がりを支援

○企業立地推進強化事業 41,769千円
市町や関係機関と連携した企業情報等の収集・分析・アプローチ、アフターケア等による優良企業の誘致を推進

○やまぐちIT・サテライトオフィス誘致推進事業 17,000千円

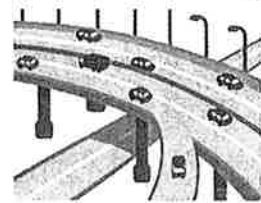
○企業立地サポート事業 1,323,935千円
県内で工場を新設する事業者等に対し補助

○高度産業人材確保事業 2,472千円
奨学金返還補助制度の要件緩和等を行い、高度な専門知識を有する産業人材の県内製造業での就業を促進

○山口県産業人材確保基金積立金 30,483千円
将来の地域産業の担い手となる学生の県内就業の促進に向けた奨学金返還支援に必要な財源を確保するため、基金を積立

○高速交通道路網調査費 9,967千円
地域高規格道路等の今後の整備方針等を検討するため、必要な調査を実施

○山陰道整備促進事業 6,384千円



○工業用水利活用設備設置支援事業（企業会計） 95,000千円
企業立地の促進や工業用水の需要開拓を図るため、工業用水の導入や拡大利用に伴う初期設備投資を支援

○工業用水需要開拓強化事業（企業会計） 33,800千円

○工業用水道事業（企業会計） 4,967,863千円
「島田川工業用水道建設事業」の着実な推進を図るほか、宇部・山陽小野田地区の供給体制の再構築、本格的な更新時期を迎える管路等の老朽化・耐震化対策を計画的・重点的に推進

○平瀬発電所建設事業（企業会計） 23,000千円
地域資源を活かした新たな電源開発となる平瀬発電所の建設を推進（最大出力：1,100kW、運転開始：平成36年4月）

○水力発電所リパワリング推進事業（企業会計） 26,000千円
低廉かつ安定供給に優れた「水力発電」の供給力向上を図るため、全国に先行し、既設水力発電所の設備更新に合わせたリパワリング（水車ランナ、発電機コイルの改造等による出力向上）を計画的に実施

②中堅・中小企業の成長・安定・創業支援

新地域中堅・中核企業支援事業 5,000千円
県経済を牽引する「地域中核企業」の創出・成長を支援するため、官民連携による総合的な支援体制を整備

○チャレンジやまぐち中小企業総合支援事業 374,371千円
産学公金の連携のもと、ものづくり企業やサービス産業など幅広い業種を対象に、新事業分野進出や海外を含めた積極的な事業展開の取組、優れた人材の確保・育成の取組を、一貫して総合的に支援

新航空機・宇宙機器産業参入促進事業 13,000千円
航空機産業分野での大型案件受注のため、一貫生産体制の確立とともに、宇宙機器産業への参入に向けたニーズ把握等の取組を支援

新産業人材創造事業 36,000千円
産業力の強化に向け、産業人材創造に係る支援体制を構築するとともに、人材創造・強化に係る研修等を実施

○中小企業活力向上促進事業 44,920千円
県内中小企業の事業化、販路拡大の取組促進等、やまぐち産業振興財団が実施するローカルイノベーションの実現に向けた取組を支援

新宇宙利用産業創出支援事業 415,487千円
「宇宙データ利用推進センター(仮称)」を設置し、県内企業の衛星データ利用に係る研究開発・事業化を支援

○産業技術センター運営費交付金 628,669千円
(第2期中期計画期間：平成26～30年度の5年間)

新やまぐちIoT導入促進事業 9,442千円
IoT技術を活用した新サービスの創出や新たな事業活動に取り組む事業者の支援

新創業チャレンジ総合支援事業 64,961千円
創業への関心段階から創業後のアフターフォローまできめ細かな一貫した支援を実施

○女性創業サポート事業 21,465千円
子育て期にあたる女性労働力率の低下の解消や、女性の活躍促進を図るため、女性向けの創業支援を実施

○九州・山口ベンチャーマーケット開催事業 1,066千円
九州・山口各県と経済界との連携により、中小企業と投資家等とのビジネスマッチングイベントを開催

○事業承継総合支援事業 12,430千円
後継者不在等の問題を抱える事業者に対して、事業承継の準備の意識づけから実行まで、円滑な事業承継に向けたきめ細かな支援を実施



○中小企業制度融資 [枠融資]670億円
県内中小企業の経営の安定・強化に資するための低利・長期資金の融資

○次代を担う産業人材育成推進事業 7,683千円
「山口マイスター」等の活用等により、次代の山口県産業を担う産業人材の育成を促進

○ものづくり産業技能向上対策事業 15,071千円
若年技能者から熟練技能者までの各段階に応じた技能向上や人材育成を支援するとともに、技能の継承にあたる指導者の育成や指導体制の強化を推進

○職業能力開発支援事業 578,636千円
離職者等を対象に、民間教育訓練機関等の機動性を活用した多様な職業訓練を行い、本県産業を担う人材の育成と早期就職を支援

○やまぐちインターンシップ等総合推進事業 23,196千円
県内外の大学生等を対象とした県内企業でのインターンシップ等を総合的に推進し、学生の県内定着を促進

新県内就職・人材確保支援強化事業 68,963千円
県内就職と人材確保の支援体制強化に向け、「若者就職支援センター」の支援対象にシニア、女性を追加する等の機能強化を図る

○やまぐち中小企業魅力情報発信！若者定着促進事業 6,580千円
大学等と連携し、県内企業の魅力情報を効果的に発信

○就職説明会等開催事業 18,133千円
県内中小企業と学生・一般求職者との就職説明会等の開催

③強い農林水産業の育成



新新規就業者等産地拡大促進事業 174,000千円
県内各地に広がる園芸産地における規模拡大への取組を支援し、魅力あふれる産地を形成するとともに、新規就業者の確保を推進

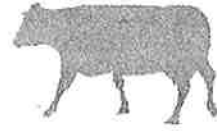
新米の契約取引拡大支援事業 9,000千円
中核経営体の連携生産及び複数年契約等による県産米の取引モデルを確立・普及し、安定した生産供給体制の構築を推進

新園芸・薬用作物生産転換促進事業 19,700千円
消費者の多様なニーズに応える高収益作物の生産流通体制を構築し、生産転換を促進することで農業者の所得向上を推進

新JGAP取得加速化推進事業 6,786千円
安心・安全な生産による「JGAP」認証取得を強化することにより、中核経営体の育成や販路拡大を推進

新農林水産業イノベーション研究事業 23,000千円
ロボットやICTを活用した先端技術による超省力化等の研究を実施し、作業負担の軽減や低コスト化を推進

新農林漁業女子ステキ・スタイル応援事業 20,437千円
女性農林漁業者のロールモデルとなる経営参画者を育成し、女性の活躍を促進



新次世代酪農基盤強化事業 7,561千円
全国初となる「後継牛バンク」の立ち上げ支援等により、市場価格が高騰している乳用後継牛の安定確保体制を構築

新やまぐち和牛おいしさ向上推進事業 49,584千円
第11回全国和牛能力共進会で全国3位に入賞した県育成種雄牛の更なる改良と肥育技術向上による「やまぐち和牛」の高品質化を推進

新地域を牽引する中核的漁業経営体育成推進事業 39,470千円
水産大学校の持つ水産経営等に関する専門的知見も活用し、中核的漁業経営体による収益性の高い取組や、経営基盤強化を支援

新水産業強化支援事業 190,198千円
市町等が実施する水産資源増大に向けた施設整備を支援

○**学校給食県産食材利用拡大事業** 11,900千円
生産者団体・食品加工業者等と協働して、学校給食における県産農林水産物の利用拡大やくじら食文化の普及を推進

○**やまぐち6次産業化・農商工連携推進事業** 156,600千円
県産農林水産物を活かした魅力ある新商品開発や商品力向上支援

○**やまぐち県産木材利用拡大総合対策事業** 178,894千円
民間分野等における優良県産木材等を利用した住宅助成を行うとともに、公共建築物の木造化を支援し、木材の地産・地消を推進

○**新規農業就業者定着促進事業** 535,795千円
集落営農法人等を受け皿とした新規就業者の確保・育成に加え、就業後の定着促進に重点を置いた支援

○**農地中間管理機構事業** 159,676千円
農地中間管理機構を活用し、地域の分散した農地を借り受け、まとまりのある形で担い手への集積を促進

○中核経営体育成支援事業 168,000千円
集落営農法人等、地域の中心となり得る農業経営体の立ち上がりや経営力強化を支援し、本県農業の構造改革を推進

○指定産地等パワーアップ事業 450,000千円
産地パワーアップ計画に基づき、高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援

○南津海シードレス早期産地化推進事業 1,000千円
南津海シードレスの早期産地化に向け、穂木採取用原木の管理を委託し、穂木の安定生産を促進



○集落営農法人連合体育成事業 80,000千円
集落営農法人連合体の設立を推進するとともに、大規模経営の確立と所得の確保に向けた取組を支援

○鳥獣害と戦う強い集落づくり事業 322,029千円
集落ぐるみの被害防止対策を推進

○野生鳥獣管理対策強化事業 45,734千円
野生鳥獣の捕獲の強化及び捕獲の担い手の確保・育成を実施

○農業農村地域活性化総合対策事業 2,481,977千円
農村地域の活力を創出するため、農地維持に必要な共同作業を支援

○中山間・棚田ふるさとの活力創出応援事業 16,000千円
中山間地域等の活力を創出するため、複数の集落が連携して人材の確保等に取り組む体制づくりを支援

○新規林業就業者定着促進事業 31,825千円
林業の担い手確保のための募集から研修、就業、定着までの一貫した支援 ◇定着支援給付金 120万円/年×3年

○新規漁業就業者定着促進事業 86,742千円
新規就業者を確保するため、募集から研修、就業、定着までの一貫した支援体制を構築

- 県産木材生産力強化対策事業 15,000千円
伐期を迎えたスギ・ヒノキ人工林における主伐の促進と民間素材生産事業体の経営基盤強化を一体的に実施
- 木材利用加速化事業 121,736千円
高性能林業機械の導入等を支援するとともに、地域の林業・木材産業関係者の連携強化を促進
- 少花粉スギ等優良種苗供給対策事業 8,991千円
少花粉スギ採種園を整備するとともに、松くい虫抵抗性マツ等の採種園を適正管理することにより、林業用苗木の供給体制を強化
- 森林整備加速化事業 300,000千円
間伐材の供給力の強化等に向けた路網整備、伐倒、搬出の支援
- 有用漁場開発推進事業 10,000千円
近年の漁海況の変動等に対応し、経営基盤の維持を図るため、現況に応じた漁場開発及び漁法開発を実施
- 漁業生産増大推進事業 46,346千円
藻場・干潟及び地先・沿岸沖合における生産力の増大に資する取組の実証・支援を行い、漁業生産力の強化・漁業所得の向上を促進
- 下関漁港生産力強化緊急対策事業 50,000千円
老朽化した沖合底びき網漁船の大規模改修（高度衛生化）を下関漁港整備と一体的に進める
- 水産共同研究推進事業 15,000千円
水産大学校に設置された共同研究拠点（山口連携室）を核として、産学公による水産共同研究を実施
- 儲かるやまぐち和牛の生産促進事業 25,352千円
「やまぐち和牛」の増頭及び高品質化等を推進
- 森林活力再生事業 316,825千円
荒廃森林の整備や繁茂竹林の伐採による森林の活力再生の推進
◇強度間伐の実施等 ◇繁茂竹林の伐採等

○地域が育む豊かな森林づくり推進事業 80,000千円
市町等が主体的に取り組む森林整備を支援
◇中山間地域対策 ◇地域課題対策

○下関漁港水産業振興拠点整備事業 687,233千円
下関漁港機能強化事業と一体的に水産業振興拠点施設等を整備
◇下関漁港ビル建設工事等



(2) 大交流維新

① 国内外との交流の拡大

新 “クルーズやまぐち” 地域活性化推進事業 8,412千円
クルーズ船の誘致に向けた戦略的なセールス活動の展開と合わせ、クルーズ旅客の満足度向上に向けた消費動向・観光ニーズ調査を実施

○岩国錦帯橋空港駐車場利用環境整備事業 27,000千円
駐車料金を無料化（5日間まで）するため維持管理費の一部を助成

新 交流拡大！山口宇部空港国際化推進事業 61,973千円
国際定期便の定着・拡大やチャーター便の拡大に向けた取組を推進

○岩国錦帯橋空港ターミナルビル機能強化事業 700,000千円
利便性向上・利用促進に向け、機能強化に係る整備費を助成

新 中南米山口県人子弟等人材育成事業 17,384千円
中南米山口県人子弟等の受入を実施

新 スペイン・ホストタウン推進事業 5,998千円
東京オリンピック・パラリンピックに向け、ホストタウン相手国であるスペインとの人的、経済的、文化的な交流を推進

新 ロシア・クラスノダール地方交流推進事業 9,307千円
相互理解・協力関係の発展強化に向け、協定に基づく取組を推進

○「サイクル県やまぐち」推進事業 52,800千円
サイクルスポーツ振興による交流人口の拡大を図るため、シンボルイベントの開催やサイクルスポーツ環境の整備、効果的な情報発信等を実施

新東京オリンピック等世界大会活用地域活性化推進事業

10,000千円

○やまぐち文化プログラム推進事業

19,190千円

東京オリンピック・パラリンピックに向け国が進める文化プログラムの全国展開に合わせ、県内文化の魅力を発信

○やまぐちDMO戦略推進事業

54,540千円

「やまぐちDMO」が戦略的に事業展開するための体制確立を支援

○魅力ある観光地域づくり推進事業

35,279千円

多様な主体の連携のもと、各地域で誇りや愛着を抱いている地域資源を活用した新たなツーリズムの創出や観光交流拠点の整備を支援

○観光プロモーション力強化事業

21,981千円

新たな発想や手法に基づく訴求力の高いプロモーションを展開

○観光交流県やまぐち推進事業

25,000千円

官民で構成する「おいでませ山口観光キャンペーン推進協議会」において、魅力的な観光地域づくりや戦略的な情報発信等を実施

○外国人宿泊観光客数倍増事業

19,500千円

県内宿泊を含む旅行商品造成の拡大・定着化を図るための支援

○外国人観光客受入環境整備事業

25,537千円

受入環境整備の推進（無線LAN整備、案内表示等）

○やまぐちインバウンドパワーアップ事業

79,043千円

観光プロモーターを核として戦略的な誘致プロモーションを展開

○地域とともに歩む文化財資源総合保存活用推進事業

47,418千円

② 国内外への売り込みの強化



新山口発！水産インフラ輸出構想展開支援事業

9,000千円

県内企業がJICAなど国等の支援メニューを活用してベトナム・キエンザン省での事業展開を図る取組を支援

新やまぐち県産品売込強化事業 52,381千円
地域商社のビジネスモデル確立と将来的な自立に向けた取組支援

○外国人留学生等活用支援事業 9,817千円
外国人留学生の県内就業の促進、人材確保の支援

新グローバルビジネス総合支援事業 33,000千円
やまぐち産業振興財団を海外展開拠点とし、中小企業の海外展開の基本方針の策定から実行段階までを総合的に支援

新ぶちうま！維新推進事業 64,000千円
地産・地消の着実な推進と大都市圏・海外等に向けた県産農林水産物等の更なる需要拡大を推進

③ やまぐちへの人の還流・移住の促進



○住んでみいね！ぶちええ山口移住促進事業 52,000千円
市町や関係機関等との連携により、本県への移住実現に向けた一体的な取組を推進

新移住林業就業加速化事業 3,500千円
県外の希望者に対し、相談会から就業体験までを一体的に実施

○移住就農加速化事業 11,400千円
相談会の開催から県内の産地視察や就農体験まで一体的に実施

(3) 生活維新

① 結婚から子育てまでの切れ目ない支援

○保育・幼児教育総合推進事業 5,495,023千円
子ども・子育て支援新制度に基づく施設型給付及び地域型保育給付

○地域子ども・子育て支援事業 1,469,616千円
市町が「子ども・子育て支援事業計画」により実施する事業の推進

○多子世帯応援保育料等軽減事業 337,196千円
年収約360万円以上の世帯について、第3子以降の保育料等を世帯の所得額に応じて軽減

- 多子世帯応援保育料等軽減事業（幼稚園分） 42,755千円
- みんなで子育て応援推進事業 16,834千円
やまぐち子育て連盟を中心に、地域や企業、関係団体と連携した子育て県民運動の推進 ◇**新**イクメンミーティングの開催
- ぶち幸せおいでませ！結婚応援事業 68,194千円
やまぐち結婚応援センターを核とした出会いから成婚までの一貫した支援を推進 ◇**新**マッチング・サポートの実施
- 新** 未来を描く！学校内子育てひろば推進事業 2,600千円
中学校や高等学校内に「子育てひろば」を開設し、若者の結婚・子育てに対する前向きな気運を醸成
- やまぐち子ども・子育て応援ファンド事業 3,500千円
子育て支援や子どもの貧困対策等に取り組む団体の活動を支援
- シニアも応援！子育てサポーター事業 8,640千円
高齢者や子育て経験者等を「子育てサポーター」に登録し、保育所や地域の子育て支援活動における活用を促進
- 保育士確保総合対策事業 19,385千円
保育士確保を図るため、人材確保や待遇改善の取組を総合的に推進
- 保育所児童の健康支援体制強化事業 6,273千円
看護師等の配置を支援 [補助率]国3/4、県1/8、市町1/8
- 新**病児保育充実強化支援事業 23,364千円
病児保育の県内全市町参加による広域利用協定を進めるとともに、施設整備の支援や研修を実施
- 不妊治療・新生児検査支援事業 263,570千円
- 新**子育て世代包括支援センター機能強化事業 6,136千円
安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを推進するため、子育て世代包括支援センターの設置促進や地域における相談支援体制を強化 ◇身近な相談支援体制の構築（まちかどネウボラの整備）



○小児医療対策事業 163,542千円
県全域の小児救急医療体制を確保するための各種事業を実施

○周産期医療体制総合対策事業 127,814千円
周産期医療体制の充実強化

新子どもの虐待対策強化事業 64,980千円
児童虐待の発生予防から早期発見・早期対応、保護児童の社会的自立に至るまで、関係機関の連携による切れ目のない支援体制の構築

新家庭的養護推進事業 16,274千円
社会的養護を必要とする子どもが、家庭と同様の養育環境で養育されるよう、里親委託や養子縁組を推進

新子どもの居場所づくり推進事業 11,267千円
ひとり親家庭の子ども等に対して生活・学習支援や食事提供を行う「子どもの居場所づくり」に係る取組を支援

○ひとり親家庭等就業支援強化事業 10,812千円
ひとり親家庭等が安心して子育てと仕事を両立できる環境の整備

○福祉総合相談支援センター整備事業 211,545千円
県央部の福祉相談機関を統合し、総合的・一体的な相談支援体制を構築（山口市吉敷下東（旧消防学校跡地）、平成31年4月供用開始）

○三世代同居・近居推進事業 15,885千円
子育てしやすい環境づくりの一環として、三世代同居・近居を推進

② 働き方改革の推進

新やまぐち働き方改革サポート事業 29,440千円
やまぐち働き方改革支援センターを中心とした、企業に身近な相談支援体制の充実・強化

新やまぐち働き方改革実践モデル展開事業 18,990千円
長時間労働の縮減、ワーク・ライフ・バランスの推進などの「働き方改革」の実現に向け、モデル企業の取組の強化・拡大を支援

新建設産業活性化推進事業 7,676千円
産学公の連携により建設産業の「担い手の確保・育成」と「働き方改革」を一体的に推進

新学校における働き方改革環境整備事業 28,850千円
ICTの利用促進による業務の効率化・合理化及び勤務時間を意識した働き方の推進
◇県立高等学校等への統合型校務支援システムの導入
◇ICカードリーダーの導入

③ 快適な暮らしづくりの推進

新ぶちエコやまぐち推進事業 572,846千円
省・創・蓄エネの取組を一体的に推進し、民生・運輸部門のCO₂排出削減を加速化

○大気汚染常時監視事業 101,524千円
県内の大気環境の状況を常時監視し、県民にリアルタイムで情報提供するとともに、PM_{2.5}の注意喚起等を実施

○資源循環型社会形成推進事業 144,642千円
循環型社会の形成を図るため、資源循環型産業の育成支援や3R県民運動を実施

○産業廃棄物適正処理推進事業 100,382千円

○海岸漂着物等地域対策推進事業 46,964千円
海洋ごみの回収・処理支援や幅広い県民を対象とした発生抑制対策等による一体的な取組を推進

○やまぐちの美しい海づくり推進事業 4,453千円
離島をフィールドとした海洋ごみの実態把握と発生抑制対策を実施

新人と動物の安心な暮らしづくり推進事業 2,936千円
遺棄防止に効果的なマイクロチップの普及促進や捕獲・譲渡体制を強化することにより、人と動物の安心な暮らしづくりを推進

○地方バス路線運行維持対策事業 540,677千円
路線の維持・確保のため、事業者及び市町に対し、運行経費を助成

○離島航路対策事業 389,305千円
県内離島の航路維持を図るための取組を支援

新みんなの公園にぎわい創出事業 4,607千円
都市公園の新たな利活用を図るため、民間活力やボランティアによる継続的な活動に向けた体制づくりを支援

○空き家利活用等推進事業 4,105千円
相談体制の充実、適正管理・利活用の推進、市町の取組への支援

④ 新時代を創造する子どもたちの育成

○山口で学び、活躍する人材育成支援事業 4,550千円
「大学リーグやまぐち」等との連携・協働により県内大学生の県内就職を促進

○県立大学運営費交付金 1,057,916千円
運営費交付金の交付〔第3期中期目標期間〕平成30～35年度

○山口県立大学第二期整備事業 1,504,069千円

○私立幼稚園教員処遇改善促進事業 8,000千円
私立幼稚園が実施する、教員処遇改善に係る経費を補助

○子育て支援のための私立高校生授業 135,575千円
経済面で就学困難な生徒に授業料等の減免を行う学校法人に助成

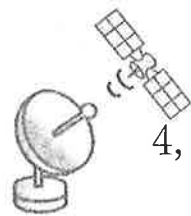
○私立学校運営費補助 5,097,239千円
私立学校が実施する教育・研究に必要な経常的経費を補助
〔1人当たり単価〕・高等学校（全日制） 342,500円
・幼稚園（法人立） 190,000円

○私立幼稚園預かりサポート推進事業 311,308千円
私立幼稚園が実施する預かり保育等に対し助成



新 JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業

JAXAが持つ教育資源を活用した教育の推進



4,134千円

新 学校業務支援員配置事業

24,573千円

教職員の業務を補助する学校支援人材を配置

◇学校業務支援員の配置 [配置数]小学校10人、中学校60人

新 地域教育力日本一推進事業

131,010千円

学校・家庭・地域が連携・協働し、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り、支援する「やまぐち型地域連携教育」の推進

○ やまぐちっ子学力向上推進事業

11,880千円

小・中学生の学力向上に向け、授業改善や自主学習を推進

○ やまぐちの活力を支える高校生就職支援事業

57,147千円

高校生等の県内就職に向けた総合的な支援の実施

○ 高校コミュニティ・スクール推進事業

6,000千円

高校コミュニティ・スクールを拡充するとともに、地域の活性化や地域課題の解決に向けた拠点機能の一層の充実 (H30新規導入16校)

○ 特別支援学校コミュニティ・スクール充実事業

7,150千円

全ての県立特別支援学校にコミュニティ・スクールを導入

○ 高等学校における特別支援教育体制整備充実事業

31,125千円

県立高等学校における特別支援教育の充実を図るため、「通級による指導」の制度導入に向けた取組を推進

新 特別支援学校における障害者スポーツ充実事業

3,000千円

特別支援学校におけるスポーツ活動の充実に向けた取組を推進

○ やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業

6,798千円

県内大学等と連携・協働した高校生の県内進学促進の取組を実施

新 特別展「夢・未来・そして宇宙へ！ 宇宙兄弟展2018×

やまぐちと宇宙」(仮称)開催費(県立博物館)

21,850千円

○いじめ・不登校等対策強化事業 195,111千円
いじめの未然防止・早期対応・いじめ解消率100%を目指し、いじめや問題行動、不登校等の生徒指導上の諸課題への対策を強化

新やまぐち部活動応援事業 58,158千円
持続可能な学校の指導・運営体制の構築等に向け、顧問に代わって引率や指導を行う部活動指導員等の配置

⑤ 誰もが活躍できる地域社会の実現

新県民活動推進事業 6,000千円
「山口ゆめ花博」に繋がり拡大する県民活動の推進

○ソーシャルビジネス創出支援事業 12,600千円
ソーシャルビジネスの事業化への支援

新女性活躍サポート強化事業 8,826千円
女性自身や経営者に加え、家庭からのサポートに重点を置いた取組を進め、県全体で意識改革による女性活躍を推進

○シニア活躍！ねんりんパワー応援事業 26,438千円
ねんりんピック山口大会の成果を継承・発展させ、高齢者が活躍できる地域社会づくりを推進

○障害者いきいきサポート事業 39,264千円
障害者の積極的な社会参加と住み慣れた地域での自立を支援する様々なサービスの提供

○あいサポート運動推進事業 5,237千円
県民の障害に対する理解を深め障害のある人が必要な配慮を実践する「あいサポート運動」の取組推進

○障害者スポーツ県民参加推進事業 26,867千円
スポーツを通じた障害者の社会参加と県民理解促進

○やまぐちパラアスリート育成ファンド事業 3,500千円
障害者アスリートを県・企業・県民が一体となって支援するため、ファンドを活用し、選手の遠征費や強化費等を助成

新 障害者アート推進事業 障害者の芸術活動を支援	8,603千円
新 医療的ケア児支援体制整備事業 医療的ケアが必要な障害児の地域生活を支援する体制整備	2,034千円
新 農福連携マルシェ開催事業 農作業受託等に取り組む障害者就労施設に対する支援	6,000千円
○発達障害児地域支援体制強化事業 発達障害児支援機関の連携強化と専門性向上を通じた、発達障害児に対する地域支援体制の整備	6,000千円
○発達障害者支援センター運営事業 地域における発達障害者への総合的な支援体制を整備 ◇ 新 医療と福祉の連携を図るコーディネーターの配置	27,114千円
新 やまぐちの働く女性応援事業 女性の就業継続に向けた啓発や職場環境整備への支援を行い、若年層の女性の就業を促進 ◇女子トイレ、更衣室の整備への補助 等	24,000千円
○子育て女性等の活躍応援事業 子育て女性等の就職に向けた不安の解消や就業意欲の醸成等	61,385千円
○障害者雇用促進事業 事業主の理解及び関係機関の連携を促進するとともに、障害者の意欲と適性に応じた就労を支援し、障害者の雇用を促進	48,106千円
○若者が活躍する競技スポーツ推進事業 全国や世界で活躍する選手の育成を図るため、選手の発掘から育成強化、指導者の養成、スポーツ医科学の活用等を一体的に推進	222,000千円
新 スポーツを通じた地域活力の創出事業 県民が生涯にわたり、気軽にスポーツに親しめるよう、スポーツ交流・元気県づくりを推進 [事業主体] 市町 [補助率] 1/2	33,670千円

⑥ 防災・減災対策の強化



○私立学校耐震化促進事業

92,566千円

私立学校の耐震化を促進するため、校舎等の耐震補強・改築等に要する経費を助成

新 県民防災力発揮事業

4,000千円

大規模災害に備え、地域防災力の強化や災害対応力の推進を図り、防災体制を充実強化

新 被災者生活再建支援システム整備事業

147,060千円

熊本地震の教訓を踏まえ、大規模災害時における被災者の迅速な生活再建を実現するため、市町と連携して統一的な支援システムを導入

○消防防災ヘリコプター更新事業

166,193千円

新たにテレビ電送システムを備えた消防防災ヘリコプター「きらら」の機体更新

新 流木災害防止緊急対策事業

36,500千円

平成29年7月の九州北部豪雨災害を受けた国の流木被害対策強化に対応し、大径木人工林周辺の避難経路の少ない高齢化集落を通る溪流上流地区の危険度調査を実施

新 水害リスク実態調査事業

2,500千円

県管理河川における過去の被災履歴等を調査し、市町へ情報提供することで、各市町における河川の浸水実績等の把握と住民への水害リスク情報の周知を促進

○民間建築物耐震改修等推進事業

83,882千円

不特定多数の者が利用する建築物や防災拠点施設、緊急輸送道路沿道建築物、多数利用建築物及び木造住宅等の耐震診断・改修等に対する補助

○宅地耐震化推進事業

22,755千円

地震時に大規模な地すべりの変動が発生し、大きな被害が生じるおそれがある大規模盛土造成地の位置、場所、規模を調査し、マップを作成・公表

○応急危険度判定体制整備事業 628千円
災害時の被災宅地危険度判定及び被災建築物応急危険度判定体制の整備・強化を図るため、判定士等の養成講習等を充実

○災害時のすまい確保対策事業 1,101千円
災害時に応急仮設住宅等を迅速に提供するため、国事業と連携し、体制を整備

⑦ 保健・医療・介護の充実

新 若手医師確保総合対策事業 276,201千円
県内医師の高齢化が進む中、平成30年度から開始される新専門医制度に対応した、若手医師確保策を重点的に推進

○医師就業環境整備総合対策事業 51,249千円
過酷な勤務状況にある病院勤務医等の就業環境の整備充実や、女性医師の出産・育児等を支援

○へき地医療総合対策事業 49,508千円
山村、離島等のへき地における持続可能な医療提供体制の構築
◇へき地医療拠点病院の運営費補助

○地域医療構想推進事業 6,920千円
地域医療構想の実現や、保健医療計画の推進のための医療圏ごとの協議会の運営

○医療機能分化連携推進事業 266,900千円
地域医療構想の実現に向け、地域医療構想調整会議において合意が得られた医療機関の施設・設備整備を支援

○看護師等修学資金貸与事業 95,872千円
県内の医療機関等に勤務する看護職員の確保を目的とした修学資金の貸与
[対象者] 県内勤務希望の看護学生等 [貸与月額] 1.5万円～3.6万円

○看護職員資質向上推進事業 41,296千円
看護職員の資質向上を図るため、新人看護職員研修への支援、専門性の高い看護師の育成支援等を実施

- 看護職員確保促進事業 20,466千円
看護職員の確保を図るため、中高生等への普及啓発や潜在看護職員の再就業支援等を実施
- 地域医療介護連携情報システム整備事業 456,307千円
在宅等における医療・介護サービスの一体的な提供を促進するため、「地域医療介護連携情報システム」の構築を支援
- 医療勤務環境改善支援事業 163,049千円
医療従事者の確保を図るため、医療機関における勤務環境改善に向けた取組を支援
- 救急休日夜間医療対策事業 100,733千円
地域における救急医療や災害医療の提供体制の強化に向けた取組を実施
- ドクターヘリ運航支援事業 259,009千円
広域的な救急医療体制を強化するため、救命救急患者の搬送や迅速な診療開始に重要な役割を果たすドクターヘリの運航を支援
- 新がん検診受診促進強化対策事業 26,343千円
がんの早期発見、早期治療のため、がん検診の受診率向上に向けた取組を実施
- 新肝がん・重度肝硬変治療特別促進事業 10,450千円
長期に渡る治療が必要な肝がん・重度肝硬変患者の医療費負担の軽減を図るとともに、臨床データを収集することで、肝がん・重度肝硬変の治療研究を促進
- 新やまぐちぶち元気っちゃ！事業 34,979千円
県民の健康寿命の延伸を図るため、健康づくりの「見える化」、「日常化」を推進するとともに、「ガバナンス強化」として、推進体制の強化を図ることにより、県民総参加の健康づくりの取組を推進
- 歯と口腔の健康づくり推進事業 4,741千円
「やまぐち歯・口腔の健康づくり推進計画」に基づき、生涯にわたる歯・口腔の健康づくりを総合的・計画的に推進

- 在宅歯科保健医療連携推進事業 20,294千円
在宅歯科保健医療体制の整備を図るため、関係機関の連携体制強化、専門的人材の確保・育成を実施
- 「地域で活躍する薬剤師」総合支援事業 15,483千円
在宅医療需要の増加に対応するため、在宅医療を担う薬剤師の活動を支援
- 地域包括ケアシステム推進強化事業 62,807千円
地域包括ケアシステムを支える人材の確保・育成や、サービスの円滑な提供に向けた取組を一層推進
- シニア活躍！地域支援担い手育成事業 8,384千円
老人クラブを中心とした高齢者を生活支援サービス等の担い手として育成
- 介護人材確保総合対策事業 65,155千円
介護人材確保に向けた魅力発信やイメージ向上等による新たな担い手の養成や定着率向上等の総合的な取組の実施
- 魅力ある福祉の職場づくり推進事業 11,609千円
社会福祉法人が協働して行う地域貢献事業や、適正な経営労務管理体制の構築等への支援
- 地域包括ケアシステム基盤整備事業 1,064,342千円
介護施設等の整備を計画的に推進(15箇所)
[広域型]特別養護老人ホーム等(2箇所)
[地域密着型等] // 等(13箇所)
- 認知症施策総合推進事業 16,856千円
認知症の理解促進、人材育成、広域的支援体制の整備等を推進
◇**新**認知症カフェ設置に向けた支援
◇若年性認知症の人の居場所づくり

⑧ 安心して暮らせる環境づくりの推進

- 高齢消費者被害防止対策強化事業 2,000千円
事業者や消費者団体等と連携した高齢消費者の被害防止
- 食品衛生検査充実強化事業 18,744千円
食品衛生検査の充実・強化を図り不適正食品を排除
- 消費者対策総合推進事業 52,587千円
消費生活における安心・安全の確保を図るための相談機能の充実・強化、消費者教育の推進
- 新 若年消費者被害防止対策強化事業 4,100千円
成年年齢の引き下げを見据え、消費者トラブルの増加が懸念される若年消費者に対し、若者の意見を取り入れた効果的な啓発活動を展開
- 交通事故抑止対策推進事業 767千円
子どもや高齢者等を悲惨な交通事故から守るため、交通事故防止対策など、総合的な交通安全対策を推進
- 性暴力被害者支援事業 6,280千円
やまぐち性暴力被害者支援システム「あさがお」による、被害直後からの総合的な支援を実施
◇24時間365日運用の相談体制
◇相談支援員による電話・面接相談、病院等への同行支援 等
- 新 うそ電話詐欺未然防止推進事業 12,790千円
うそ電話詐欺（特殊詐欺）の被害防止を図るための取組を推進
◇被害防止訓練強化対策の推進 等
- 新 交通安全県やまぐち推進事業 6,648千円
高齢者に対する総合的な交通事故防止対策及び県民への正しい交通マナーの普及促進
- 山口警察署建設費 1,287,156千円
老朽・狭隘化が著しい山口警察署の移転建替整備
〔事業期間〕 H25～H31 〔H30事業〕 建物本体工事

○駐在所等改築費 235,579千円
老朽・狭隘化が著しい駐在所等の移転建替等整備
〔実施箇所〕岩国署麻里布交番・由宇交番、小串署阿川駐在所 等

○交通事故防止施設総合整備事業 956,990千円
高齢者の関与する事故の防止及び速度抑止に効果的な交通安全施設
の整備

⑨ 活力ある地域づくりの推進

○やまぐち元気生活圏づくり協働支援事業 15,000千円
やまぐち元気生活圏推進方針の着実な実施を支援
◇**新**中間支援組織設置の検討

新やまぐち元気生活圏活力創出事業 130,000千円
市町や地域団体が行う元気生活圏推進方針の着実な実施に必要な
取組をソフト・ハード両面から支援

新中山間地域振興特別対策事業 30,000千円
集落機能の低下が著しい地域の維持・活性化に急ぎ取り組み、将来
の元気生活圏形成に繋げていくための特別支援を実施
◇特別支援員の配置（4名） ◇地域づくり活動支援
〔補助対象〕将来において元気生活圏形成を構成する周辺集落
等で集落機能維持の緊急性が高い地域
〔対象経費〕地域の維持・保全に向けた活動経費
〔補助率〕10/10（補助上限額 1,000千円）

新体感やまぐち地域滞在型交流促進事業 11,000千円
将来の移住・定住に繋がる、地域との関わりの深い滞在型交流を展
開するため、受け皿となる地域組織を育成

新コンパクトなまちづくり連携促進支援事業 5,830千円
市町による立地適正化計画の策定や都市間連携の視点からのコン
パクトなまちづくりを促進し、にぎわいのある、誰もが暮らしやすい
まちづくりを支援

付録 平成30年度予算各種図表

1 歳入の内訳

○ 性質別内訳

一般財源と特定財源

(単位 百万円、%)

区 分	30 年 度		29 年 度		比 較		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 減 額	伸率	
一 般 財 源	県 税	175,779	26.1	175,051	25.7	728	0.4
	地 方 交 付 税	168,354	25.0	167,688	24.6	666	0.4
	県 債 (臨時財政対策債)	30,468	4.5	31,823	4.7	△ 1,355	△ 4.3
	そ の 他	87,507	13.0	92,839	13.6	△ 5,332	△ 5.7
	計	462,108	68.7	467,401	68.6	△ 5,293	△ 1.1
特 定 財 源	国 庫 支 出 金	78,758	11.7	78,795	11.6	△ 37	0.0
	諸 収 入	56,252	8.4	58,299	8.6	△ 2,047	△ 3.5
	県 債 (上記以外)	52,168	7.8	52,976	7.8	△ 808	△ 1.5
	そ の 他	23,697	3.5	23,418	3.4	279	1.2
	計	210,875	31.3	213,488	31.4	△ 2,613	△ 1.2
総 額		672,983	100.0	680,889	100.0	△ 7,906	△ 1.2

自主財源と依存財源

区 分	30 年 度		29 年 度		比 較		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 減 額	伸率	
自 主 財 源	県 税	175,779	26.1	175,051	25.7	728	0.4
	諸 収 入	57,997	8.6	62,611	9.2	△ 4,614	△ 7.4
	そ の 他	83,326	12.4	85,957	12.6	△ 2,631	△ 3.1
	計	317,102	47.1	323,619	47.5	△ 6,517	△ 2.0
依 存 財 源	地 方 交 付 税	168,354	25.0	167,688	24.6	666	0.4
	国 庫 支 出 金	79,186	11.8	79,445	11.7	△ 259	△ 0.3
	県 債	82,636	12.3	84,799	12.5	△ 2,163	△ 2.6
	そ の 他	25,705	3.8	25,338	3.7	367	1.4
	計	355,881	52.9	357,270	52.5	△ 1,389	△ 0.4
総 額		672,983	100.0	680,889	100.0	△ 7,906	△ 1.2

2 歳出の内訳

① 目的別内訳

(単位 百万円、%)

区 分	30 年 度		29 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 減 額	伸率
議 会 費	1,482	0.2	1,464	0.2	18	1.2
総 務 費	32,862	4.9	28,739	4.3	4,123	14.2
民 生 費	93,158	13.8	95,817	14.1	△2,659	△2.8
衛 生 費	20,629	3.1	21,763	3.2	△1,134	△5.2
労 働 費	2,449	0.4	2,750	0.4	△301	△10.9
農 林 水 産 業 費	34,791	5.2	34,434	5.1	357	1.0
商 工 費	55,243	8.2	56,156	8.2	△913	△1.6
土 木 費	71,296	10.6	71,296	10.5	0	0.0
警 察 費	39,293	5.8	38,944	5.7	349	0.9
教 育 費	143,887	21.4	144,142	21.2	△255	△0.2
災 害 復 旧 費	5,100	0.7	5,260	0.8	△160	△3.0
公 債 費	98,628	14.7	105,607	15.5	△6,979	△6.6
諸 支 出 金	73,965	11.0	74,317	10.9	△352	△0.5
予 備 費	200	0.0	200	0.0	0	0.0
総 額	672,983	100.0	680,889	100.1	△7,906	△1.2

② 性質別内訳

(単位 百万円、%)

区 分			30 年 度		29 年 度		比 較	
			当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 減 額	伸 率
義 務 的 な 経 費	義 務 的 経 費	人 件 費	178,191	26.5	180,725	26.6	△2,534	△ 1.4
		公 債 費	98,628	14.6	105,607	15.5	△6,979	△ 6.6
		扶 助 費	47,192	7.0	45,861	6.7	1,331	2.9
	税 関 係 交 付 金	73,965	11.0	74,317	10.9	△352	△ 0.5	
	計	397,976	59.1	406,510	59.7	△8,534	△ 2.1	
投 資 的 経 費	補 助 公 共 事 業	補助公共事業	50,209	7.5	51,509	7.6	△1,300	△ 2.5
		直轄事業負担金	7,382	1.1	7,687	1.1	△305	△ 4.0
		単独公共事業	10,794	1.6	10,863	1.6	△69	△ 0.6
		小 計	68,385	10.2	70,059	10.3	△1,674	△ 2.4
	県 営 建 築 事 業	14,674	2.2	11,738	1.7	2,936	25.0	
	そ の 他	5,082	0.7	3,168	0.5	1,914	60.4	
	普 通 建 設 事 業	88,141	13.1	84,965	12.5	3,176	3.7	
	災 害 復 旧 事 業	5,191	0.8	5,378	0.8	△187	△ 3.5	
計	93,332	13.9	90,343	13.3	2,989	3.3		
そ の 他	物 件 費	17,489	2.6	17,518	2.6	△29	△ 0.2	
	維 持 補 修 費	3,618	0.5	3,596	0.5	22	0.6	
	補 助 費 等	95,007	14.1	102,226	15.0	△7,219	△ 7.1	
	貸 付 金	52,529	7.8	55,285	8.1	△2,756	△ 5.0	
	そ の 他	13,032	2.0	5,411	0.8	7,621	140.8	
	計	181,675	27.0	184,036	27.0	△2,361	△ 1.3	
総 額			672,983	100.0	680,889	100.0	△7,906	△ 1.2

自由民主党山口県支部連合会

〒753-8535 山口市大手町9-11

山口県自治会館5階

TEL.083-925-3121 FAX.083-923-3511